

平成26年3月期経営状況概要

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	支出負担行為	対予算比
8. 水道事業収益	2,319,181	212,123	2,321,375	100.1%	△ 2,194		
1. 営業収益	2,253,380	177,633	2,254,713	100.1%	△ 1,333		
1. 給水収益	2,227,200	176,789	2,227,133	100.0%	67		
2. 受託工事収益	0	0	0		0		
3. その他営業収益	26,180	844	27,580	105.3%	△ 1,400		
2. 営業外収益	50,980	24,777	52,815	103.6%	△ 1,835		
3. 特別利益	14,821	9,713	13,848	93.4%	973		
9. 水道事業費用	2,196,021	1,250,975	2,150,976	97.9%	45,045	0	0.0%
1. 営業費用	1,817,916	1,116,383	1,803,375	99.2%	14,541	0	0.0%
1. 原水及び浄水費	350,994	93,243	345,740	98.5%	5,254		0.0%
2. 配水費	207,928	41,723	204,520	98.4%	3,408		0.0%
3. 給水費	79,362	9,937	78,821	99.3%	541		0.0%
4. 受託工事費	0	0	0		0		0.0%
5. 業務費	116,239	19,425	115,410	99.3%	829		0.0%
6. 総係費	145,231	36,814	141,052	97.1%	4,179		0.0%
7. 減価償却費	895,797	895,792	895,792	100.0%	5		0.0%
8. 資産減耗費	22,365	19,448	22,040	98.5%	325		0.0%
9. その他営業費用	0	0	0		0		0.0%
2. 営業外費用	332,532	134,120	327,028	98.3%	5,504		0.0%
3. 特別損失	25,573	472	20,573	80.4%	5,000		0.0%
4. 予備費	20,000	0	0		20,000	0	
10. 資本的収入	1,336,248	617,817	1,136,339	85.0%	199,909		
1. 企業債	527,600	415,000	440,000	83.4%	87,600		
2. 負担金・補償金	516,703	1,598	455,875	88.2%	60,828		
3. 補助金	108,389	86,977	86,977		21,412		
4. 出資金	164,362	112,415	133,422	81.2%	30,940		
5. 加入金	19,194	1,827	20,066	104.5%	△ 872		
9. その他資本的収入	0	0	0		0		
11. 資本的支出	2,382,657	633,701	1,925,213	80.8%	457,444	1,541,531	64.7%
1. 建設改良費	1,761,856	465,332	1,304,414	74.0%	457,442	1,541,531	87.5%
1. 取水施設整備費	124,920	58,003	71,205	57.0%	53,715	123,589	98.9%
2. 浄水施設整備費	126,325	40,436	86,210	68.2%	40,115	107,810	85.3%
3. 配給水施設整備費	1,205,753	342,045	853,500	70.8%	352,253	1,016,634	84.3%
6. 管理施設整備費	3,150	0	2,235	70.9%	915	2,235	70.9%
7. 消防設備整備費	1,870	1,271	1,271	67.9%	600	1,271	67.9%
8. 災害復旧費	299,838	23,578	289,992	96.7%	9,846	289,992	96.7%
2. 企業債償還金	620,801	168,369	620,799	100.0%	2		0.0%
12. たな卸し資産購入限度額	40,186	3,398	27,456	68.3%	12,730		0.0%
①有収水量	8,313,700	643,305	8,135,258	97.9%	178,442		
②供給単価	267.90	274.81	273.76	102.2%	△ 5.87		
③給水原価	258.40	1,943.87	261.87	101.3%	△ 3.47		
人件費	254,246	42,877	251,657	99.0%	2,589		
1. 収益的収支	217,184	36,442	214,600	98.8%	2,584		
1. 職員給与費	216,318	36,442	214,427	99.1%	1,891		
2. 特別職(報酬、賃金等)	866	0	173	20.0%	693		
2. 資本的収支	37,062	6,435	37,058	100.0%	4		
* 職員給与費	253,380	42,877	251,485	99.3%	1,895		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.7%	20.6%	9.6%				
2. 全職員	11.4%	24.3%	11.3%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	38,515,396	39,649,660	1,134,263	
*減価償却累計額	15,399,585	16,199,600	800,015	23,450,060
B. 流動資産	2,400,403	2,776,569	376,166	
1. 現金預金	1,635,302	2,277,801	642,499	
2. 未収金	536,132	349,709	△ 186,423	
3. その他	228,970	149,059	△ 79,911	貯蔵品・前払い金等
C. 繰延勘定	0	0	0	
D. 水道事業費用	0	2,078,652	2,078,652	
1. 営業費用	0	1,772,448	1,772,448	
2. 営業外費用	0	286,594	286,594	
3. 特別損失	0	19,609	19,609	
1. 借方合計	40,915,800	44,504,880	3,589,080	=A+B+C+D
E. 固定負債	50,000	47,000	△ 3,000	・修繕引当金
F. 流動負債	581,379	510,180	△ 71,200	
2. 未払金	251,213	315,000	63,786	
8. 資本的収入整理勘定	326,164	153,764	△ 172,400	3. 未払消費税4. 前受金含む
9. その他流動負債	4,002	41,416	37,414	
①下水道預り金	0	0	0	
②水道料金預り金	13	23	10	
③その他	3,989	41,393	37,404	・仮受消費税他
G. 資本金	16,414,497	16,540,836	126,339	
1. 自己資本金	5,222,669	5,529,807	307,138	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金	11,191,828	11,011,029	△ 180,799	=企業債元金
H. 剰余金	8,470,338	8,993,461	523,122	
1. 資本剰余金	8,154,684	8,677,806	523,122	・補助金、負担金、補償金、加入金等
2. 利益剰余金	315,655	315,655	0	・H24利益
K. 水道事業収益	0	2,213,804	2,213,804	
1. 営業収益	0	2,148,656	2,148,656	
2. 営業外収益	0	51,376	51,376	
3. 特別利益	0	13,772	13,772	
2. 貸方合計	40,915,800	44,504,880	3,589,080	=E+F+G+H+K+減価償却累計額
a. 供給単価(円、銭)	260.73	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	253.10	=原価算入額÷有収水量		
②シミュレーション		原価算入額に資本費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	81.50%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	81.44%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	544.23%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	446.47%	=現金預金÷流動負債		

* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成26年 3月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 計 画 累 計	D 前 年 度 同 月 累 計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	29,982	362,147	359,900	359,556	2,247	2,591
2 調定水量	m ³	636,854	8,081,454	8,114,000	8,235,027	△ 32,546	△ 153,573
3 調定料金	円	176,788,555	2,227,132,825	2,227,200,000	2,248,406,760	△ 67,175	△ 21,273,935
4 口振加入件数	件	25,241	305,122	-	304,998	-	124

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 前 年 度 同 月 累 計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	83,725	-	84,627	△ 902
6 給水件数	件	30,002	-	29,852	150
7 開栓処理件数	件	508	2,880	2,625	255
8 閉栓処理件数	件	383	2,750	2,440	310
9 給水工事設計審査	件	97	950	1,000	△ 50
10 給水工事竣工検査	件	119	1,023	1,083	△ 60
11 経年メーター交換	件	496	4,872	4,441	431
12 メーター口径変更	件	2	93	144	△ 51
13 月末停止件数	件	△ 1	118	115	3

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額	B 収 納 率	C 前 年 同 期 未 収 額	D 収 納 率
14 当年度分	188,493,482 円	91.56 %	187,402,634 円	91.67 %
15 過年度分	3,917,410 円	97.96 %	4,465,815 円	97.70 %
16 全 体 (計)	192,410,892 円	-	191,868,449 円	-

4 給水装置工事指定業者(変更なし)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	6	16	12	13	9	8	14	5	102	112	214

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計 (落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	135/147	58/68	0/0	28/29	0/0	24/24
契約締結	一般	19	0	0	0	0
	指名	86	5	0	9	5
	随契	30	4	0	15	2
	合計	135	9	0	24	7

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計12件/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	69	30	
中間検査	9	0	
合計	78	30	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
第12回安全衛生委員会	11日	行事計画及び日程調整
第12回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	12日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
給水拠点設置訓練	20日	豊里総合支所
第12回経営分析会議	24日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命
例月出納検査	25日	月例監査
平成26年第1回議会臨時会	27日	補正予算
第10回事業調整会議	27日	部長等連絡調整会議復命、日程調整
指名委員会	-日	第29回 3/14
入札	-日	3/27
情報公開請求	-日	開示請求件数0件/14件、開示文書0件/54件
緊急メールの発出	-日	漏水7、破損3、水質情報1、流量異常2、訓練2、その他2 計17

特記事項

1. 3月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益は176,789千円で、1月期に比べて1,304千円の増、対前年同月比では60千円の減となっています。累計で2,227,133千円、予算執行率100.0%、昨年の累計額に対し、21,274千円の減となっています。

当期の営業費用は1,116,383千円で、1月期に比べ1,060,883千円の増、対前年同月比では93,162千円の増、累計では1,803,375千円で、昨年より84,409千円の増、予算執行率は99.2%となっています。減価償却費に895,792千円、固定資産除却費に19,448千円、営業外費用として企業債償還金利息に69,016千円を執行しました。

②資本的収支

当期の収入は、企業債295,000千円、補償金19,485千円、補助金64,180千円、水道加入金1,827千円、加入金累計額は20,066千円となっています。

支出は、保呂羽浄水場取水施設詳細設計費に38,137千円、新田配水池築造事業詳細設計費に27,062千円、配水管布設替事業工事請負費に60,340千円、緊急時用連絡管事業工事請負費に69,903千円、繰越分では、災害復旧工事費に23,578千円、企業債元金償還金として168,369千円を執行しました。

③たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に3,364千円、消耗品に222千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 平成26年度当初予算の概要

平成26年第1回議会定例会において、平成25年度水道事業会計補正予算(第3号)、平成26年度水道事業会計当初予算が3月17日に原案どおり可決承認されました。当初予算の概要は次のとおりです。

1、収益的収支

収入 2,619,353千円(前年比292,190千円増)うち給水収益2,280,090千円(前年比31,890千円増)

支出 2,808,334千円(前年比637,620千円増)

主な事業 資産管理業務委託、

2、資本的収支

収入 1,494,165千円(前年比882,491千円増)支出2,432,662千円(前年比704,968千円増)

主な事業 保呂羽浄水場取水施設土木工事等、新田配水池築造事業、東和地区緊急時用連絡管布設工事

(2) 水道施設整備事業評価委員会を開催

水道施設整備事業評価委員会を3月17日に開催しました。今回は、新田配水池築造事業が詳細設計で新たに送水管布設等の事業が盛り込まれ、事業費総額で10億円以上となり事業評価を受けるものです。また、緊急時用連絡管事業は、事業着手後10年を経過し、今後も事業を継続実施することから事業妥当性の再評価を受けるものです。委員会では、議会の産業建設常任委員会、伊藤委員長、氏家副委員長、市の田口企画部長、鈴木建設部長の4名の委員さんに審議いただき、その結果、事業は妥当と評価されました。

事業の推進状況は、新田配水池築造事業が平成25年度に用地取得、26年度に本体工事等に着手、28年度に事業完了、緊急時用連絡管事業が平成27年度に米川浄水場へ連絡管を布設し、事業が完了します。

(3) 減免制度を再延長しました

東日本大震災で全壊・大規模半壊の被害を受けられた方々への水道加入金等の減免制度を平成27年3月31日まで再延長しました。

(5) 水道モニターとブースターの合同会議を開催

水道モニター・ブースター合同会議を3月19日に開催しました。会議では、水道アンケート結果の概要説明、平成26年度の水道事業の概要や予算の説明を行い、その後意見交換を行い、貴重なご意見をお話いただきました。

(4) マッピングシステム操作研修を開催

4月1日に運用を開始するマッピングシステムの操作研修会を3月25日に開催しました。現状のシステムには市全域の航空写真に口径毎の管路網等が貼り付けされており、漏水や断水等でその情報が瞬時に利用できます。今後、平成29年度までシステム機能の充実を図っていきます。



平成26年 3月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	866,194	10,418,462	10,237,150	10,720,708	181,312	-302,246
配水量	823,576	9,989,510	9,985,290	10,355,991	4,220	-366,481
1 有効水量	720,769	8,945,783	8,965,370	8,995,320	-19,587	-49,537
(1)有収水量	641,046	8,135,258	8,313,700	8,286,517	-178,442	-151,259
(2)無収水量	79,723	810,525	651,670	708,803	158,855	101,722
2 無効水量	102,807	1,043,727	1,019,920	1,360,671	23,807	-316,944
(1)漏水量	100,464	1,036,206	1,000,000	1,348,277	36,206	-312,071
(2)その他無効水量	2,343	7,521	19,920	12,394	-12,399	-4,873
3 有収率	77.84	81.44	83.26	80.02	-1.82	1.42

※当月期の最大配水量は、24日(月)に記録した【28,320m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	7	124,920	2	52,383	5	71,205	1,332	99%
イ 浄水施設整備事業	13	126,325	1	21,600	10	86,210	18,515	85%
ウ 配給水施設整備事業	88	831,491	9	163,134	66	503,782	164,575	80%
エ 繰越事業	24	674,100	0	0	23	639,710	34,390	94%

*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

◎毎日検査

※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 4)	石越町水系 (測定戸数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 1)
平均	0.56	0.44	0.41	0.55	0.29
最低	0.49	0.30	0.20	0.43	0.24
最高	0.64	0.58	0.52	0.66	0.32

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H26.3.25	<0.60	<0.60	錦織水系浄水場	H26.3.25	<0.60	<0.60
石越浄水場	H26.3.24	<0.70	<0.80	米谷水系浄水場	H26.3.25	<0.70	<0.80
大萱沢浄水場	H26.3.25	<0.70	<0.50	楼台浄水場	H26.3.25	<0.70	<0.70
米川水系浄水場	H26.3.25	<0.70	<0.60	—	—	—	—

特 記 事 項

1 錦織・米谷水系浄水場の電気・計装設備が更新されました

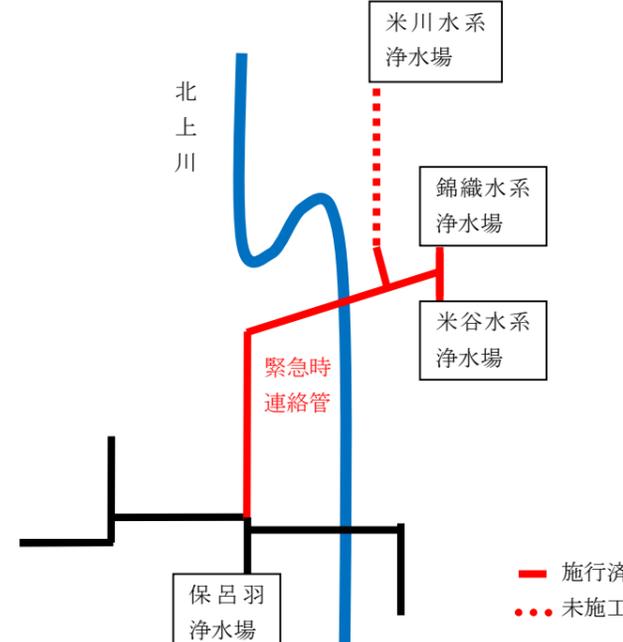


本工事は東和町の錦織及び楼台水系浄水場に新たに取水流量計を設置したものです。また、各浄水場の電気計装盤の更新を行い、新たな通信設備に改良し、各水系からのきめ細かい情報が保呂羽の中央管理室に伝送される設備に整備しました。取水量の常時監視により、安定した浄水処理が可能となりました。

2 緊急時用連絡管整備事業で接続された保呂羽水系からの

錦織・米谷水系浄水場への管路工事が完了

本事業は、緊急時用連絡管整備事業として緊急時における水供給の安定性を向上させるため平成20年度から進めてきましたが、この工事の完成により保呂羽水系と錦織水系浄水場及び米谷水系浄水場が結ばれました。このことにより、夏場の渇水時や異常気象等による水質悪化など災害時には迅速に対応できるようになりました。また、本事業は平成27年度を最終年度として米川水系浄水場への接続を目指します。



3 平成25年度漏水対策の実施について

3月末現在の漏水調査の結果は累計で、(配水管46箇所、空気弁3箇所、給水管45箇所、止水栓4箇所) 98件の漏水を発見しております。

4 地震発生状況

震度4以上の地震発生ありませんでした。